

地球温暖化問題と京都議定書

地球温暖化問題

人類の生存基盤を揺るがす問題

気候変動

- ・過去50年の温暖化の影響は人間活動に起因

21世紀末の予測

- ・地球の平均気温が最大5.8上昇
- ・平均海面水位が最大88cm上昇
- ・豪雨、渇水など異常気象が増加

影響

- ・すでに脆弱な生態系に影響

予測

- ・40cmの海面上昇で、世界の浸水被害が7千5百万人～2億人増加
- ・途上国の農業生産等に大きな悪影響
- ・生態系の破壊、伝染病の北上
- ・大規模な異常気象による金融・保健サービスの年当たり経済損失 1950年代：39億US\$年/1990年代：400億US\$年

対策

- ・対策技術の大きな進展を触発。
- ・経済合理的な対策でコスト低減可能。
- ・制度・技術・社会面の一体的取組が肝要。

IPCC第3次報告書評価報告書より

気候変動枠組条約

気候系に対し危険な影響を及ぼさない水準で温室効果ガスの濃度上昇を止めることを目的に、世界が取り組む。

京都議定書

地球環境の枠の中で、人類が持続的に発展していくことを保障しようとする新たな発想に基づく国際約束。

温室効果ガスの具体的削減のための唯一の国際的な枠組み。

先進国全体で、2008年～2012年に1990年比約5%の温室効果ガス排出量を削減。

我が国の目標は6%削減。

明年半ば発効の可能性。